2. 全面通行止めによる交通流の変化（迂回流動の状況）

【指定迂回路による迂回の状況】

近隣迂回の迂回率は、距離が12km～29km増加し2.5～4.4倍、時間が20分～37分増加し3.0～5.6倍。広域迂回は、距離が108km増加し2.1倍、時間が155分増加し2.4倍。

【全面通行止めによる自動車交通への影響】

全面通行止め約42時間で、約1万台の交通に影響発生。内訳は、交通の迂回が約90百台、運行中止が約12百台。
この迂回による走行費用増加は、約4千6百万円と推計。

- 全面通行止めにより、6,990 台/42H が国道 345 号等の近隣迂回ルートへ、1,960 台/42H が国道 113 号等の広域迂回ルートへ迂回したと推察。なお、広域迂回ルートでの増加交通のほとんどは大型車。
- 運行中止車両は、通常時の当該区間交通量約１万４千台の８％の 1,170 台/42H と推察。
- 迂回走行による増加費用は約 4,600 万円、１台当たり約 5,200 円と推計。

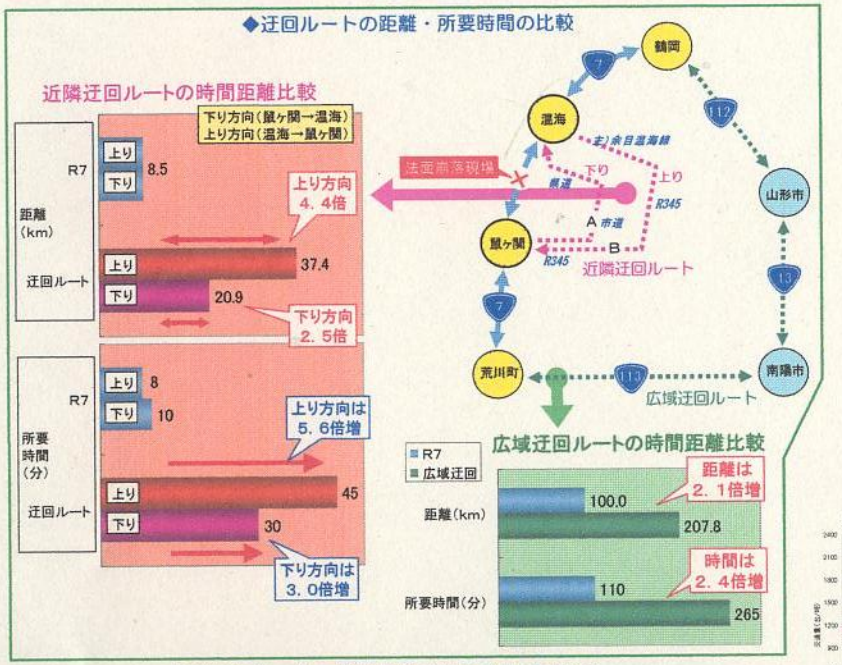
◆全面通行止めによる交通流動への影響

国道７号の通常時交通量	13,950 台/42H
近隣迂回交通量	6,990 台/42H
広域迂回交通量	1,960 台/42H
運行中止量	1,170 台/42H
地域内交通、工事用車両	3,830 台/42H

◆交通の迂回に伴う増加費用

	対象交通量（台/42H）	迂回に伴う増加費用（万円/42H）	１台あたり平均増加費用
近隣迂回	6,990	1,378	約 2.0千円／台
広域迂回	1,960	3,222	約16.4千円／台
合計	8,950	4,600	約 5.2千円／台

＊迂回に伴う増加費用は、国道７号走行に対し、迂回走行により増加する時間費用、走行費用を計上。



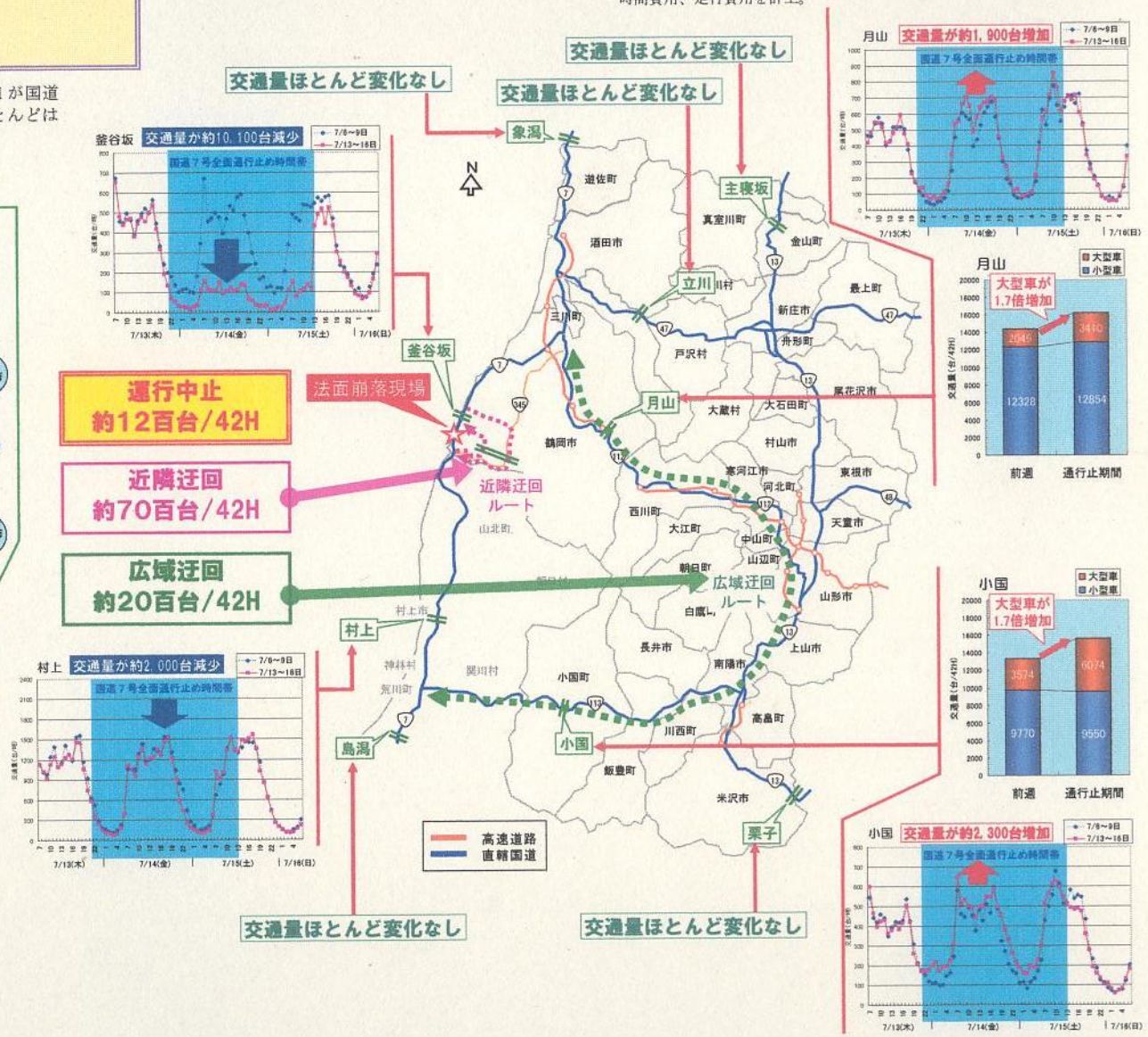
＜近隣迂回ルートの道路状況（H18.7.14撮影）＞



◆市道小名部小国線［上図A］



◆国道345号［上図B］



◆国道７号全面通行止めによる交通流動の変化　データ：国土交通省東北地方整備局調べ